

「鳥羽市こども計画（素案）」についてパブリックコメントでいただいた意見に対する市の考え方・対応

番号	該当ページ	意見	市の考え方・対応
1	57	「親となるための意識づくり」 子どもから若年層にかけて乳幼児との接触が昔と比べて減っていることが、育児不安や子どもを持つことへの関心の希薄化につながっている事実は否定できないですが、全ての子どもや若年層に対して「親となるための意識づくり」をさせるということは、「全ての人は親になるために生まれてきた」という価値観の刷り込みになりかねません。親となるための意識づくりをするのであれば、それと同時に「親にならないことも個人が選択可能であると同時に、希望してもなれないこともある」ということも伝える必要があります。それを伝えることによって、親になる人が少なくなるのだとしたら、それは親となるための意識づくりがされていないことが原因ではないでしょう。	該当の事業は、あくまで親・保護者となることを望む方々が任意で利用するサービスであると認識しています。その点が伝わりやすいように、「意識づくり」を「子育てについて考える機会の充実」と修正します。 また、事業の説明において、適宜「親となることを望む」と追記することで、自由意思に基づく利用を意図していることを強調します。
2	57	「思春期保健対策の充実」 現在の取り組み状況で「性や喫煙・飲酒、薬物等に関する授業を実施」とありますが、なぜ今後の方向性では「性」という部分が抜けているのでしょうか。意図的に削除しているなら、大いに問題だと思います。ぜひ発達に合わせた包括的性教育を進めて欲しいです。	意図的に削除したものではなく、「喫煙・飲酒、薬物等の危険性」という表現の中に「性」を併記することで性的なものが危険であると感じさせないように記載しなかったものとなります。 性教育の実施も含めた内容となるよう、「教職員が性や喫煙・飲酒、薬物についてさらに知識の習得を図り、子どもたちに伝えていくことに努めます」と修正します。

「鳥羽市こども計画（素案）」についてパブリックコメントでいただいた意見に対する市の考え方・対応

番号	該当ページ	意見	市の考え方・対応
3	58	「安心して生活できる環境づくり（人口流出抑制の部分）」 こども計画で「人口流出抑制」という文言が入るのが異様だと感じます。施策の内容が「若者が他の地域ではなく鳥羽市に居住することを選択する」為のものであったとしても、人口流出抑制を目的とするならば、こども計画として出すべきではありません。鳥羽が好きで鳥羽に住みたいけれど、様々な理由により近隣の別自治体に住むことを選択する若い人たちが多くいます。そんな人たちが鳥羽に住む選択を後押しすることは、人口流出の抑制ではなく、単に「安心して生活できる環境づくり」という言葉で表現できるはずだと思います。どこを向いて計画を作っているのでしょうか。	該当の事業の目的は、「人口流出抑制」ではなく、まさしく「若者が鳥羽に住む選択を後押しするということ」です。目的が間違っって伝わってしまわないように「人口流出の抑制」という表現は削除します。
4	59	「結婚を希望する方への支援」 個人的には行政による結婚支援には疑問を持っていますが、多様な価値観に配慮された表現が良いと思います。	ご指摘の通り、該当の事業はあくまで若者のライフスタイルや価値観の多様性に配慮した上で実施するものと認識しています。 その点は、計画素案においても既に記載されているものと考えておりますので、修正はしていません。
5	61	「情報提供の充実」 制度について知らない人や、本来サービスが必要であるが利用をためらっているといったケースや情報を入手できないケースがあることをしっかり認識して、改善していく方針は良いと思います。	ご意見を踏まえ、適切に計画を推進していきたいと思います。